

第3回：商店街UD研修

日時：7月23日（土） 13:30～16:30

会場：集合 霊巖寺

深川江戸資料館通り商店街で買物体験

深川ふれあいセンター 2F会議室

ねらい：

- ・商店街に向けた、UDの意識啓発プログラムを実施します。
- ・UDを商店街にあてはめてみると、「多様なお客様の立場に立ってお店づくりや接客をすることで、一人でも多くのお客様が気持ちよく、安全にお買い物ができる環境づくりをすること」といえます。
- ・商店街には、さまざまな利用者が訪れます。誰もが楽しく買い物ができるためには、来訪者のことを理解し、必要な配慮をすることが必要です。
- ・このプログラムでは、いろいろな来訪者（買い物客）の立場で、接客にあたって配慮するポイントや店舗の工夫などを商店主に伝えます。

内容：深川江戸資料館通り商店街で買物体験

- ・第2回で考えた、店員さんに伝えたいポイントに気をつけて、買い物を楽しみました。

プログラム：

13:30 【開会】あいさつ

13:35 ①【プログラムの確認】

13:40 グループ分け、グループ毎に自己紹介

13:50 ②【商店街で買物体験と店主とのやりとり実践】

(90分)

15:20 会場に戻って適宜休憩

15:30 ③【ふりかえりと意見交換（店主に伝えたいこと）】

(30分)

16:00 ④【発表】10グループ×2分

16:20 事務連絡・アンケート

16:30 閉会

① 【プログラムの確認】

1) グループ分け

- ・障害のある方をリーダーとして、グループ分けをします。
- ・グループ毎に、自己紹介をします。
- ・リーダーから、障害の特徴や、どんなお手伝いが必要かを聞きます。
- ・どのあたりにお買い物に行くコースを確認します。
(コースは概ねのものでかまいません。現地で自由に移動します)
- ・リーダーには2,000円をお渡しします。2,000円以内でお買物をしてください。

2) まちでお買い物体験

- ・グループ毎にまちに出ます。
- ・できる限り、リーダーと店員さんが直接やりとりするようにしてください。
- ・リーダーは店員さんの対応について気がついたことがあれば、その場で店員さんに伝えてください。

3) 体験の感想・まとめ

- ・お買い物体験で気がついたこと、良かったこと、配慮して欲しいことを出しあいます。
- ・他のグループがどんなことに気がついたかを聞きます。

【グループ分けと必須のお店】

G	氏名	必須訪問店	人数
1		江戸みやげ高橋	4人
2		田捲屋呉服店	4人
3		あづま屋文具店	5人
4		ギャラリー as 商店街事務所	4人
5		デリ - ヤマザキ 深川いっぷく	5人
6		デリカやまこし	4人

深川資料館通り商店街協同組合

店舗のみ掲載

明治11年 東京に区政が敷かれ14年今の深川江戸資料館のところに **深川区役所**が誕生しました。間もなく商店が集まり始めましたが 大正12年間東大震災により壊滅。その後昭和10年代には区画整理も完成。商店街も全盛期になりました。昭和20年3月東京大空襲によりまたもや一面焼け野原に。21年頃から徐々に商店が復帰をし22年深川と城東が合併して江東区となりました。その頃から深川商會会として戦前に負けなし商店街に復興。37年法人化して 区役所通り商店街と改名。47年区役所が東横に移転。又もや商店街に打撃が。名称も元区役所通り商店街とマイナーな名前に。昭和61年区役所あたりに深川江戸資料館が開館。商店街も深川資料館通り商店街と改称。資料館と共に努力発展中です。

は天正18年(1590)鹿川家康が
因し 江戸を本拠に定めた時
處を江戸に運ぶために開削した
り。その後 東北方面との重要
り。沿岸を中心に町場化し発展
建造・修理など船大工が多かった
この界隈を通船大工町と呼ばれた

深川いっぷく

とは深川資料館通り商店街が空き店舗対策のために
スタートしたお店です。お昼様で飲食出来ます。

深川資料館通り商店街イベント情報
春・**お花見でもアーティスト**という作品展を4月下旬約10日間に開催します
フロア・アマなども参加出来ます。作品は店内やお寺の境内・歩道上・壁などに
展示出来る物でしたら何でもOKです。参加費 無料
秋・**おがれゴシック** 9月1日〜敬老の日まで 歩道上に並べて楽しみます
どちらからでも参加出来ます。参加費は無料ですが食品・資金などは沢山用意し
ております。書でご参加下さい。おがれゴシックの骨組みが入用な方には差しあげ
ます(原料)表形式は東京都現代美術館講堂&深川江戸資料館ホールで行います

★ 集合場所
● 行くお店



うなぎを養殖発祥の地
この界隈の香魚池でうなぎの人口養殖に
世界初成功後によい場所を求めてたどり
着いたのが浜名湖周辺とされる

東京都現代美術館は新美術館に
次ぐ大きな盛り。大きな現代
美術作品も展示出来るように
天井は最大18mと高く 絶えず
企画展と常設展示を展開している

雷岡八幡宮は三年に1度本祭り
があり盛大な連合渡御が行なわ
れます。70ある氏子町会の内
54基の神輿が並んで8kmに及
ぶ道のりを渡ります。深川資料
館通りは渡御の休憩地となり
商店街800一軒にその雄姿が並
びます。神輿が担ぎ手にはお水
思ひっきりかけて清めます

りまっぴ

2015. 6. 20現在
深川八幡宮の大祭りは
江戸三大祭りの一つ

②【商店街で買い物体験と店主とのやりとり実践】



③【ふりかえりと意見交換（商店主に伝えたいこと）】 ④【発表】

●店員さんに伝えられたこと

《視覚障害者》

- ・障害のある方に積極的に声をかけて欲しい（この店はかけてくれる）
- ・どういったものを売っているか？（佃煮、駄菓子、炊き込みご飯、手ぬぐい、小物）
- ・小物類を触らせてもらえるか？（手で触らせてくれた）
- ・障害ある人に親切にしてくださっているが、見かけたら声をかけていただけたら嬉しい
- ・「おつりのチェックをしてね」と気遣いがあった
- ・メニューのフォントを崩さず、わかりやすいものにして欲しい
- ・メニューは写真があり参考になる

《車いす使用者》

- ・入口のスロープが高さが足りないため、車いすが入れないこと（高さを揃えていただけると助かる）
- ・段差があるため、車いすでは上がりづらい
- ・お金を出してもらい、商品をかばんに入れてもらう

《聴覚障害者》

- ・おつりの渡し方（見えるようにハッキリと値段がわかるように）
- ・耳が聞こえないとわかった時に、筆談で対応してもらえた



●店員さんに伝えられなかったこと

《車いす使用者》

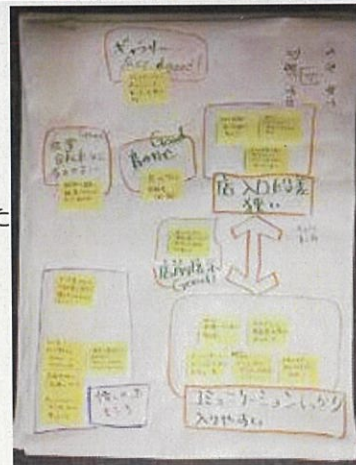
- ・人が多くて奥に入れなかった

《視覚障害者》

- ・商品の札がもう少し大きいと見やすい

《聴覚障害者》

- ・自分を見て欲しい（話をしている人の方に話をしているため）
- ・商品の説明文（チラシ）があるといい
- ・積極的に話しかけて欲しい



【今後の進め方】

- ・このプログラムは、ワークショップ参加者が講師となり、商店主に UD のことを伝える「研修」としての性格を持ちます。
- ・ただし、商店主に一方的に伝えるのではなく、「伝える側」と「伝えられる側」が商店街という場で共に考え、「教える」「教わる」関係を越えて、共に学べるものとしします。

○何を伝えたいのか、どうしたらうまく伝わるか「伝え方」を考える（前回）



○実際に商店街で実施してみる（今回）



○商店主に伝えるプログラムを作成する（今年度中）



○プログラムを継続して実施する方法を考えて実践する（来年度以降）